

# 虐待対応プログラム

## BEAMS

## Stage 1, Stage 2

日本小児科学会 新専門医制度

iii小児科領域講習の単位申請中

第17回日本子ども虐待医学会学術集会 みの開催にあわせてプレコンgressとして虐待対応プログラムBEAMSを開催いたします。

開催日

2026年7月17日(金)

開催時間

**Stage 1** 15:00~16:00 (受付14:30)

講師：古野 憲司 (福岡赤十字病院)

**Stage 2** 16:10~17:40 (受付15:30)

講師：古瀬 優太 (札幌市北保健センター)

会場

水戸市民会館

(〒310-0026 茨城県水戸市泉町1丁目7番1号)

<https://www.mito-hall.jp/access/>

参加費

**Stage 1 2,200円 (税込)**

**Stage 2 3,300円 (税込)**

★お申込みは★

BEAMSホームページから

<https://beams.jamscan.jp/event/>



日本子ども虐待医学会(JaMSCAN)

☎ 0463-95-4166

[info@jamscan.jp](mailto:info@jamscan.jp)

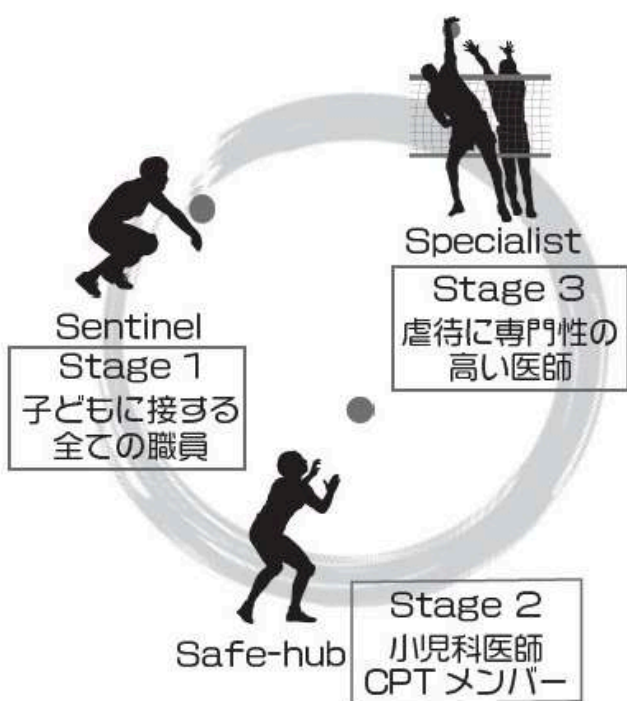
月・水・金 (祝・祭日を除く) 10:00~17:00





皆で虐待の問題に光を当て  
崩れゆく家族を梁のように支え  
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

\*beam=光の束、梁、心からの笑顔



### Stage 1:

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

### Stage 2:

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

### Stage 3:

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者	31,316人
Stage 2 受講者	8,882人
Stage 3 受講者	450人

子ども虐待対応の  
共通言語として  
全国に広がっています

\*2025年5月現在

## 2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく  
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！  
<https://beams.childfirst.or.jp>

